

令和5年度第1回さぬき市行財政改革推進委員会 会議要旨

開催日時	令和5年10月10日(火) 午後2時00分～午後4時05分
場 所	さぬき市役所3階 302会議室
出席者	[委 員] 計9名 長山委員(会長)、木村(イ)委員(副会長)、池田委員、井出委員、川田委員、木村(英)委員、下地委員、中澤委員、森永委員
	[事務局] 計5名 総務部：間嶋部長 総務部政策課：多田課長、山下課長補佐、多田係長、田中係長
欠席者	なし
傍聴者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状の交付 3 市長挨拶 4 委員及び事務局の紹介 5 会長・副会長の選出について 6 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会議の進め方について (2) さぬき市の行財政状況等について (3) 行政改革実施計画(令和4年度)の進捗状況について (4) 財政健全化策(令和4年度)の進捗状況について (5) 行財政改革に関する提言書について 7 その他 8 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 さぬき市行財政改革推進委員会 委員名簿(令和5年度) ・資料2 さぬき市行財政改革推進委員会設置要綱 ・資料3 会議の進め方について ・資料4 さぬき市行政改革実施計画(令和元年度～令和4年度) ・資料5 さぬき市の行財政状況等について ・資料6 さぬき市行政改革実施計画(令和4年度)取組項目進捗状況一覧 ・資料7 さぬき市財政健全化策(令和4年度)取組項目別効果額一覧 ・資料8 さぬき市財政健全化策(平成30年度～令和4年度) ・資料9 さぬき市行財政改革実施計画(令和5年度～令和8年度) ・資料10 行政改革に関する提言書(令和5年3月) ・(当日配布) 行財政改革推進委員会 意見調書 ・(当日配布) 行財政改革推進委員会 協議事項アンケート

開会	
議 題	(1) 会議の進め方について
事務局	<資料2、3、4について説明>
委 員	(質疑なし。)
議 題	(2) さぬき市の行財政状況等について
事務局	<資料5について説明>
会 長	令和4年度の経常収支比率は96.4%となっています。経常収支比率は、95%以下が良いとされています。また、80%台が理想的とも言われますが現実的には難しいです。現状よりもう少し節約できると良いですが、まだ新型コロナウイルス感染症の影響があるかと思います。
委 員	職種別職員数の状況について、主任ケアマネージャーの採用がありますが、ケアマネージャーは、何人在籍しているか教えていただきたいです。
会 長	職種別職員数の数値には、会計年度任用職員は含まれていますか。
事務局	常勤職員のみ的人数となります。
会 長	会計年度任用職員は、事務補助員が多いですか。
委 員	保育所や幼稚園が多いと思う。 職種別職員数の状況について、会計年度任用職員的人数を教えてください。
会 長	業務の処理に当たっているのは、会計年度任用職員も含まれます。職種別が難しければ、全体的人数だけでも次回提示してください。
副会長	保育所の使用料は、私立も公立も一緒だと思います。しかし、感覚としては、私立保育所の入所者が多いように感じます。現在の状況を知りたいので、公立、私立の保育所、幼稚園、子ども園の子ども的人数を次回教えてください。
事務局	人数については、次回用意します。 なお、保育所の場合、常勤職員と会計年度任用職員は同数程度となります。保育所では延長保育の対応や給食の対応、幼稚園では14時以降の対応等を行っています。また、より対応が必要な場合も増えていますので、子ども的人数は減っても職員数は比例して減っているわけではございません。

委員	<p>最近では、保育士、幼稚園教諭の両方の資格を保有している方を採用されていますが、両資格保有者の配置割合について、基準はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>合併以降は、両方の資格を保有している者を採用していますが、合併以前に採用した職員のうち、両方の資格を保有していない職員もいます。このため、資格に応じて保育所、幼稚園に配置しており、子ども園への配置については、認定状況に応じて配置しています。</p>
委員	<p>幼稚園によっては、園児が2名のところもありますが、どのように職員を配置していますか。</p>
事務局	<p>保育所も幼稚園も子どもの人数に対する職員数の比率がございます。 園児が2名の場合も担任が1名、担任以外で1名、主任も在籍しており、担任が休暇を取得する場合であっても、必ず誰か職員が対応できる状況になっております。</p>
委員	<p>子どもの人数が減っていますが、何か手立てを考えられたことはありますか。</p>
事務局	<p>3年前くらいまでは、幼稚園の園児の人数も全体で200人を維持してきましたが、減少しています。原因としては、施設の老朽化も1つだと考えられます。長尾では私立子ども園、志度では私立保育園が新しくできたため、利用者が流れている傾向があります。</p>
議題 事務局	<p>(3) 行政改革実施計画（令和4年度）の進捗状況について ＜資料6について説明＞</p>
委員	<p>「No.3 未利用財産の活用」に関連して、学校の跡地利用は段々と進んでいます、廃園した幼稚園の有効利用についても検討していかなければなりません。 「No.6 観光収入の確保」については、瀬戸内国際芸術祭の開催地に新たに加わり、大阪・関西万博も開催され、外国人が多く訪れるので、力を入れていただきたいです。 「No.28 情報発信体制の充実」に関連して、行財政改革とは異なるかもしれませんが、広報誌の配布について、地元説明に時間をかけてほしい、自治会長が回答した広報紙配布に関するアンケート結果を教えてください。</p>
委員	<p>広報紙の配布に関しては、自治会によっては、手間が省けて喜んでいるところもあります。</p>

会 長	<p>手間が省けたというところや安否確認等を兼ねて自治会で配布を行っていたところもあるようですが、これら広報紙の配布に関する内容については、事務局から秘書広報課へ伝えてください。</p>
委 員	<p>「No.14 公共団体等に関する補助金の見直し」について、シルバー人材センターの運営補助金の算出方法を確認してください。</p> <p>「No.24 働き方改革の推進」に関連する内容として、年5日の年次有給休暇の取得が2019年から義務化されていますが、取得できていない自治体も多いと聞いています。その実数を教えてください。官公庁は対象となりませんが、民間では違反した場合、罰金が科されます。もし、休暇取得日数が達成できていない場合は、このことについて考え方を示してほしいです。</p>
会 長	<p>市役所の場合、お盆も開庁しているので、民間と事情が異なりますが、同様に守らないといけないでしょう。</p>
委 員	<p>「No.12 公共施設マネジメントの推進」について、令和4年度から施設の使用料を統一していますが、年間の収入額やその収入の充当先について教えてください。</p>
事務局	<p>(4) 財政健全化策（令和4年度）の進捗状況について <資料7、8について説明></p>
会 長	<p>全体として、財政健全化策は順調であったようですが、ふるさと納税が大幅に上振れしたことが大きな要因のようです。また、普通建設事業では国庫補助金を活用しているようです。</p>
委 員	<p>「No.⑤-4 定住関連補助事業の見直し」に関連する内容として、結婚観の変化などから出生数の減少が続いているため、定住人口の増加は限界があると思います。このため、週末にさぬき市で過ごしていただくような、滞在型人口の増加に方針を変更してはどうでしょうか。移住したら補助金がもらえる発想ではなく、移住したいと思える政策を行ってほしいです。</p>
委 員	<p>全国的に移住者の受入の取組が行われていますが、さぬき市ではどのような取組を行っていますか。</p>
事務局	<p>数年前から津田地区に移住体験ハウスという施設を設置しています。また、旧多和小学校槇川分校を改修し、令和5年5月から利用を開始しました。</p>

委員	実績は出ているのでしょうか。
事務局	利用者のうち、毎年1、2組程度が移住しています。
会長	<p>住民票を移すハードルが高いのかもしれませんが、極端な話となりますが、別荘を建ててもらうことでも良いかもしれません。軽井沢などでは、定住人口に限定せず、観光客を多く受け入れています。さらに、良いまちだと思っただき、古民家の改修を行って居住していただけると良いと思います。</p> <p>いわゆる交流人口については、競争が激しいです。大抵の場合、隣り合った自治体は似ているため、海があつて良い場所といっても、隣の自治体でも同様のことが言えます。希少性のある内容ならば、まちの良さを売り込みやすいです。</p> <p>定住人口の増加だけでなく、交流人口の増加についても施策を分散すると良いかもしれません。交流人口の増加としては、入込観光客数を増やしたいということもありますが、徳島市の阿波踊りのように、1日で何万人も来るのではなく、2～3か月滞在していただける方が良いという考えもあるかと思いません。</p>
委員	市内でも別荘がありますが、一時期は流行っていたのですが、現在は空き家になっているところもあります。
会長	別荘の継続した利用については、購入者の高齢化や家族が同じ趣味を持っているかなどによります。湯沢温泉では、維持費は掛かりますが、マンションが安価で売り出されているものもあります。建物は、建てれば使用価値はありますが、数十年後では分かりません。
委員	一度、市外に転出したけど、さぬき市が良いまちだと思い、戻ってきてもらうUターンを強化してはどうでしょうか。
委員	先ほど、徳島市の阿波踊りの話がありましたが、明石海峡大橋やトンネルができたことで徳島市民は市内に買い物に行く人が減っています。このような環境の変化に敏感に対応しなければなりません。
会長	<p>大規模ショッピングモールの立地など、数十年後にまちの構成がどうなるかを織り込んで都市計画を作るのは難しいと思います。</p> <p>香川県では、市街化調整区域、市街化区域の線引きが全域にないため、好きなところに住めることとなります。このため、有利な土地はより豊かになりやすい傾向になりやすいため、都市計画に関しては難しい面があるかもしれません。</p>
委員	定住促進関連について、別荘地は空き家が増えてきていますが、若い農業従

	<p>事者が増えています。小田地区は高齢化率が高く、農業従事者が減り、耕作放棄地も増えていますが、仲介者がおり、特徴のある農業を行っている方もいらっしゃいます。都会から農業をしたいという方もたくさんいるので、仲介事業に力を入れてはどうでしょうか。耕作放棄地の解消にも繋がります。</p>
会 長	<p>J A香川等と連携して、どういう作物なら生計を立てやすいか等を考えるところまでを1つのパッケージにするということですね。</p>
委 員	<p>農業委員会での農地の売買の手続きが難しいようです。</p>
会 長	<p>新規農業従事者には難しいと思います。仲介事業を実施するのならば、農業委員会との調整も含んでもいいかと思います。</p>
議 題 事務局	<hr/> <p>(5) 行財政改革に関する提言書について <資料9、10について説明></p>
会 長	<p>(質疑なし。)</p> <p>意見がないようなので、以上で会議を終了いたします。</p>
閉会	